



参加申込み受付中！

今年度も
開催決定

一次案内につき、詳細は後日
当館HP等でお知らせします

第3回 朝鑑賞シンポジウム in 鳥取

概要

当館の「アートを通じた学び」を支援する研究室「アート・ラーニング・ラボ(A. L. L.)」では、学校の先生がファシリテーターとなり対話鑑賞を行う「朝鑑賞」を推進しています。学校の朝の短時間活動として「朝読書」や「朝ドリル」などが行われていますが、そこで美術作品の鑑賞を行う取り組みです。

週に1回、10分間の「朝鑑賞」が生まれて10年。取り組んだ学校では、学力と自己肯定感が目に見えて向上したり、不登校の生徒が減ったりしたことが報告され、その取り組みは、全国へと広がりを見せています。さらにその効果は、教師の指導力向上や保護者との関係性にも表れたといいます。体験する多くの人々の変容が期待できるこの取り組みについて、実践者とパネリストをお招きしてシンポジウムを開催いたします。ご来場の皆様からの声もお聞きしながら「朝鑑賞」についての理解を深めるとともに、ご所属での実践へつなげる機会とします。

内容（予定）

「朝鑑賞」が学校に何をもたらし、生徒や教師にどのような変化を生むのかについて、理論と実践の両面から迫ります。

○8件の実践報告を予定

→全国各地の小中学校・美術館・行政機関等の朝鑑賞実践者の方にご登壇あるいはリモートで発表していただきます。

○ファシリテーションバイキング

→作品3点を一人のファシリテーターと一緒に見たり、また1点の作品について別々の個性あふれるファシリテーターと見たりできるファシリテーションのバイキングです。

○パネルディスカッション

→体験したファシリテーションバイキングの感想から、朝鑑賞について考えます。

今回の
見どころ

本会コーディネーター：武蔵野美術大学 教授 三澤一実 氏

日時・会場等

【日 時】 2026年1月11日（日） 10:00～16:30

※午前の部、午後の部の間に休憩あり

【会 場】 鳥取県立美術館 ホール 他（鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12）

【対 象】 どなたでもご参加いただけます（特に下記の方にオススメ）

- ・「朝鑑賞」に興味をお持ちの方
- ・アートを通じた学びやコミュニケーションに興味をお持ちの方
- ・小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の先生方
- ・大学等学校教育関係者および学生
- ・市町村教育委員会関係者
- ・対話鑑賞ファシリテーター登録者 など

【定 員】 事前申込優先制／先着50名程度

（参加人数を把握するために、WEBフォームで事前受付を行います。お申込みいただいた方を優先にご入場いただきますが、空きがありましたら当日参加も可能です。）

【聴講料】 無料

【その他】 本会の模様は全編動画撮影し、編集後に当館HPにて公開します。

申込み

申込受付期間 2025年12月2日（火）～2026年1月9日（金）
申込フォームはこちら →

（本会の詳細については、内容が決まり次第当館HPに掲載いたします。）



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

主催 | 鳥取県立美術館 担当：鳥取県立美術館学芸課 教育普及担当
TEL | 0858-24-5441 | FAX | 0858-47-3022 | E-mail | tottori-museum@pref.tottori.lg.jp